

平成 28 年度事業実施報告書

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

はじめに

平成 28 年度は従来からの食育推進活動である、調理講習会及び親子料理教室を全国で実施するとともに、機関情報誌「すこやか情報便」は第 19 号「学校給食における食物アレルギーによる事故防止に向けて」、及び第 20 号「学校全体で食育を推進するために」を作成しました。また、学校給食用優良食品の開発研究に関しましては、全学栄製品学校給食用非常食の開発支援と普及に努めました。

「すこやか情報便」第 19 号は、第 18 号に引き続いて食物アレルギー問題を取り上げ、テキスト風に学校編・保護者編を編集しました。また、第 20 号は「学校全体で食育を推進するために」をテーマに、文部科学省より学校給食調査官および食育調査官にご参加頂き、文部科学省のご指導の下、学校現場における最新の情報を盛り込んで企画編集し、作成しました。学校におけるアレルギー対応や食育の推進について、全国の各学校に周知徹底したいとの想いから、第 19 号・第 20 号ともに全国すべての公立小・中学校、特別支援学校約 32,000 校に配布しました。その結果、全国の公立小・中学校配布対応について改めて各方面より高い評価が寄せられ、掲載内容を活用したいと追加配送の依頼も数多く、幅広い有効活用につながっています。

公益社団法人全国学校栄養士協議会との共同開発による全学栄製品学校給食用非常食については、全てのインフラが停止した状態でも、アレルギー 27 品目不使用のものが通常の食事に近い状態で食べられる事をコンセプトに開発、従来からの「救給カレー」に加えて本年 1 月「救給根菜汁」を発売しました。

また、「救給コーンポタージュ」につきましては、4 回におよぶ非常食開発会議にて検討の結果、洋風汁物として完成し、現在 29 年度内発売に向けて賞味期間設定のため保存テストを実施しております。

また、協会のホームページにつきましては、最新情報をタイムリーで分かり易く発信することを目指して、要件の整理と検討をしまいましたが、リニューアルの着手には至らず、新たな制作会社を慎重に探索して、レベルの高い内容を作成するための具体的な着手を来年度に持ち越すこととなりました。

詳細については、以下のとおり報告致します。

公 1 食育推進事業

I. 食育の推進に関する活動

1. 普及活動

1) 調理講習会

開催状況： 18 都道府県 23 ケ所 参加者 790 名
(前年実績：18 都道府県 22 ケ所 901 名)
実施状況及び実施報告は別紙の通りです。

2) 親子料理教室

開催状況： 24 都道府県 85 ケ所 参加者 3,452 名
(前年実績：24 都道府県 83 ケ所 3,513 名)
実施状況及び実施報告は別紙の通りです。

3) 講師の紹介及び派遣

(公社)全国学校栄養士協議会や(公財)都道府県学校給食会及び各地の教育委員会からの要請により研修会や調理講習会等に講師の紹介及び講師を派遣しました。

○講演講師の紹介

<講師> (公財)学校給食研究改善協会 管理栄養士 幸田真紀子氏
テーマ 「衛生管理について」
日時 平成 28 年 7 月 7 日
主催 埼玉県川越市教育委員会 参加者 約 80 名
会場 川越市立中央図書館

<講師> (公財)学校給食研究改善協会 管理栄養士 大留光子氏
テーマ 「次代を担う児童・生徒の心と身体を育てる学校給食」
日時 平成 28 年 8 月 5 日
主催 埼玉県川口市教育委員会 参加者 約 400 名
会場 川口市南平文化会館ホール

<講師> (公財)学校給食研究改善協会 管理栄養士 大留光子氏
テーマ 「次代を担う児童・生徒の心と身体を育てる学校給食
大和市の食育は、明るい給食室から」
日時 平成 28 年 8 月 22 日
主催 神奈川県大和市教育委員会 参加者 200 名
会場 大和市保健福祉センターホール

<講師> (公財)学校給食研究改善協会 管理栄養士 大留光子氏
テーマ 「給食時間を活用した指導の実際」
～毎日が楽しい発見となるように～
日時 平成 28 年 8 月 23 日
主催 福岡県学校給食研究協議会、(公財)福岡県学校給食会 参加者 40 名
会場 (公財)福岡県学校給食会

○調理講習会への講師派遣

<講師> 管理栄養士 大留光子氏
東京都、新潟県、福岡県

<講師> 管理栄養士 酒井淳子氏
秋田県、北海道(札幌)、静岡県、沖縄県

<講師> 栄養士 稲葉真貴子氏
福島県、北海道(中標津)、神奈川県

2. 広報活動

1) 機関情報紙「すこやか情報便」の発行

本機関紙は子ども達の心身のすこやかな成長を基軸に据えて、学校給食および食育に関する情報を、学校給食関係者、その他多くの人々に広報し、提供しています。学識経験者・専門医・栄養教諭などによるレベルの高い座談内容をコンパクトにまとめて、分かりやすく発信していることから、養成大学指導資料、講演会資料、保護者配布資料、教育委員会配布資料等、幅広く活用され、高い評価を得ております。

「すこやか情報便」第 19 号（平成 28 年 6 月 8 日発行）

『学校における食物アレルギー事故防止に向けて』

～学校における食物アレルギー対応の進め方の要点～ 学校編

～安全性を最優先するための学校における

食物アレルギー対応の進め方の要点～ 保護者編

18 号に引き続いて食物アレルギーに焦点をあて、平成 27 年 3 月に文部科学省から公表された「学校給食における食物アレルギー対応指針」の中の、6 項目の「大原則」のなかで、「安全性を最優先する」と「組織として取り組む」の 2 つを中心に上げ、学校及び保護者を対象として示された対応指針の内容を分かり易く要約して編集しました。学校現場など、研修の際の有益な教本として幅広く活用されています。

「すこやか情報便」第 20 号（平成 28 年 12 月 28 日発行）

『学校全体で食育を推進するために』

～栄養教諭を中核として、学校給食を活用した食育

をどのように推進していくか～

チーム学校として学校内で連携して進める食育の推進について、文部科学省・養成大学・学校長・一般教諭・栄養教諭などそれぞれの立場による分かり易い実践例や、最新のデータ・資料をたくさん盛り込んで作成しました。最新・最先端の情報紙として、全ての公立小・中学校に配布し、有効活用されています。

<座談メンバー>（敬称略）

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課	学校給食調査官	齊藤るみ
文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課	食育調査官	横嶋 剛
群馬県高崎健康福祉大学	准教授	神戸美恵子
栃木県宇都宮市立豊郷北小学校	校長	樽井圭子
神奈川県横浜市立大岡小学校	教諭	前園兼作
山形県遊佐町立遊佐小学校	栄養教諭	真嶋敦子

<コーディネーター>

公益社団法人全国学校栄養士協議会	会長	長島美保子
------------------	----	-------

2) 「日本の学校給食」パンフレット 4ヶ国語版の活用

日本の学校給食パンフレットは日本語版に続いて、英語版・中国語版・韓国語版を作成しておりますが、世界一と言われる素晴らしい日本の学校給食の取り組みを、様々なルートを通じて国内外に幅広く広報発信いたしました。

3) ホームページのリニューアル

学校給食関連の最新情報の発信及び見やすいホームページに向けて、現行ホームページを慎重に見直して参りましたが、最も重要な当協会の顔としてしっかり構成し作成するために、今年度はトピックスの刷新に留めおくこととし、根本的な更新には至っておりません。ホームページリニューアルに向け、レベルの高い実績をもつ制作会社も決定しましたので、来年度へ向け、継続してしっかり取り組んで参ります。

4) ニュースレターの拡充

今年度も引き続き「改善協会ニュースレター」として年 10 回、全国約 300 名（含む、法人）の学校給食関係者および学校給食関係者以外の人々に対し、協会内で吟味した学校給食や食育に関する情報を提供してまいりました。

5) 学校給食・食育をテーマとした各種大会への参加と絵画及び救給カレーの展示

下記のイベントや大会に絵画及び救給カレーを展示し、食育の推進に努めました。食育推進全国大会では学校給食関係者以外の一般の方々にも広く学校給食の現状を知らせ、食育の普及に努めました。また、関連する研修会、講演会各種セミナーにも積極的に参加して研鑽を積み、活動内容のレベルアップに繋げて参りました。

【平成 28 年度に参加した各種大会】

キッズフェスタ (春:5月21日 秋:10月22日 東京都)

第 11 回食育推進全国大会 (6月11日～12日 福島県郡山市)

第 57 回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 (8月3日～4日 大阪府)

野菜フェスタイン WAKAYAMA (8月28日 和歌山県)

フードシステムソリューション 2016 (9月28日～30日 東京都)

第 67 回全国学校給食研究協議大会 (11月10日～11日 秋田県)

平成 28 年度文部科学省主催学校給食週間行事 (平成 29 年 1 月)

平成 28 年度農林水産省主催学校給食週間行事 (平成 29 年 1 月)

※上記の催事にて、すこやか情報便、日本の学校給食パンフ、復刻版紙芝居等を配布しました。

II. 学校給食事業に関する助成

下記の団体に対し事業運営費の助成を行いました。

1. (公社) 全国学校栄養士協議会 (会長 長島美保子)
2. (一社) 日本学校調理師会 (会長 大島和子)

III. 学校給食の状況に関する調査研究等の活動

1. 中学校における給食実施率の向上に向けて、各種情報を発信
本年度は中学校給食の実施率の低い政令指定都市の実態及び各都道府県の最新取り組み状況を取り纏めて参りました。今後も各方面にご活用いただけるよう最新情報を発信して参ります。
2. 海外の学校給食事情視察研修は、対象候補となる地域、状況などの情報収集を行ないましたが、昨今の治安状況を鑑み、実施には至りませんでした。
3. 給食関係者との連携強化
品質等調査研究員(モニター)制度「任期2年」は、(公社)全国学校栄養士協議会の協力を得て47都道府県の栄養教諭・学校栄養職員の先生方の中からモニターを担当して頂き、学校給食の食材等に関する意見や提言を受ける制度です。9回目の今期(平成28年4月～平成30年3月)の前期平成28年4月～平成29年3月の実績は220件の報告数となりました。

IV. 給食物資に関する調査研究並びに供給

1. 学校給食用優良食品の開発研究
 - 1) (公社) 全国学校栄養士協議会との共同事業である災害時の学校給食用非常食第2弾洋風汁物「救給コーンポタージュ」を開発し、29年度発売に向けて賞味期間設定のため保存テストを実施中です。

- 2) (公社) 全国学校栄養士協議会北海道支部の新製品開発委員会と連携して北海道発の地域開発製品の開発に 2 年間にわたり取り組んで参りましたが、仮称うの花パティとして完成し、来年度発売に向けて取り組んで参ります。

2. 全学栄製品・全学栄すいせん製品の変更内容と工場査察実施状況

本年度は 7 件の全学栄製品及びすいせん製品の規格変更及び表示変更があり、(公社)全国学校栄養士協議会の理事会で承認を得ました。(承認順)

- ・全学栄すいせん製品「プルーン」 (株)サッポロ巻本舗
販売量減少に伴う終売
- ・日本食品標準成分表 2015(七訂)及び新食品表示法対応
全学栄製品及び全学栄すいせん製品全品について、新たな成分表及び新食品表示法に沿った記述に順次変更
- ・全学栄製品「かぼちやチズフライ」、全学栄すいせん製品「スクールチズフォンデュンドコロッケ」 (サンマルコ食品(株))
規格の変更：バラ詰め包装からフィルムパック詰め包装に変更
- ・全学栄すいせん製品「うの花コロッケ」 (株)スギヨ
使用原料「乾燥おから」の原料原産地変更
- ・全学栄すいせん製品「卒業すだちゼリー」 (株)セリア・ロイル
デザインの統一化、製造工場変更及び配合変更
デザインの統一：鳥デザインに統一
製造工場の変更：マルハニチロ(株)→(株)セリア・ロイル
配合変更：生産工場変更により一部配合を変更
- ・全学栄すいせん製品「減圧殺菌乾燥しいたけ加工スライス」 (八尋産業(株))
産地と栽培方法の変更：海外→国産、原木栽培→菌床栽培
- ・全学栄すいせん製品「美ら海育ちもずく」 (恩納村漁業協同組合)
規格統一：ロング商品とカット商品の 2 種類をカット商品に統一

また、「全学栄関連製品 製造工場認定基準」により、6 メーカー、6 工場の製造工場査察を実施しました。

- ・アリアケジャパン(株) 工場名：九州工場 平成 28 年 5 月 18 日
「全学栄すいせん製品ソフトサミフルク」
- ・マルイ食品(株) 工場名：高尾野工場 平成 28 年 7 月 7 日
「全学栄すいせん製品ほぐしささみ水煮」
- ・(株)真誠 工場名：関ヶ原工場 平成 28 年 9 月 2 日
「全学栄すいせん製品菜の花ふりかけ」
- ・(株)マルハニチロ 工場名：夕張工場 平成 28 年 9 月 13 日
「全学栄すいせん製品白花豆コロッケ、グラタン 2 種類」
- ・ハウスウェルネスフーズ(株) 自社工場 平成 28 年 11 月 28 日
「全学栄すいせん製品学校給食用カルウム米」
- ・(株)セリア・ロイル 自社工場 平成 29 年 1 月 18 日
「全学栄すいせん製品すだちゼリー」

3. 学校給食用脱脂粉乳供給事業

米飯給食の増加に伴いパン給食の頻度が減少しており、それに伴い脱脂粉乳の使用量は年々減少しております。

為替においては、28年度上期までは当初設定したレートを下回って推移しました。また、脱脂粉乳の国際市況は昨年引き続き底値状態にあったため、年間を通して買入れ費用が低減され、これらの買入れメリットは配分先の各県に期末還元を行いました。

また、昨年4月に発生した熊本地震においては、パンの供給者である熊本県学校給食会、所轄税関と連携して、学校給食用に用途限定された脱脂粉乳入りのパンが避難所に向けられるよう支援しました。こうした取り組みについては脱脂粉乳取扱い要領講習会のなかで伝達しております。

4. その他関連団体との協業

学校給食に関する様々な取り組みを文部科学省、(公社)全国学校栄養士協議会、全国学校給食会連合会、(公財)都道府県学校給食会、(一社)Jミルク、(一社)日本学校調理師会、その他関係諸団体と協業し推進して参りました。

V. その他

「学校給食普及改善委員会」を開催

学校給食普及改善委員の先生方にお集まり頂き、年1回の定例会を平成28年12月10日に実施しました。

すこやか情報便19号の配布状況、20号の進捗状況及び救給カレーの取り組み状況について説明、改善委員の方々からもご意見を頂きました。

また、すこやか情報便の次号のテーマ案について事前にご提出頂いたシートをもとに、積極的な意見交換を行い、次号の方向性を確認しました。たいへん意義のある充実した内容の会議となり、任期を1年延期し3年とする事を満場一致で確認しました。

公2 国産食肉需要構造改善対策事業

本年度は(独)農畜産業振興機構の公募を見送りました。